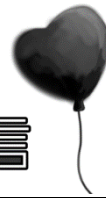




YURI



ゆりのき台中学校生徒指導通信

第5号

10月16日

■今年も「ゆり中 マスターズマラソン応援委員会」を立ちあげます

12月15日(日)、第36回三田国際マスターズマラソンが開催されます。県内外から数千人のランナーが集まる、大イベントです。ゆりのき台中学校は、「三田国際マスターズマラソンのコースに最も近い中学校」ということで、昨年度、有志の生徒で応援委員会を立ち上げ、活動しました。昨年度は応援メッセージの作成し、当日は手作りの旗を持って学校前にて声援を送りました。今年度も、生徒の中から有志のメンバーを募り、応援委員会を立ちあげます。活動内容は委員会で協議し、決定します。ぜひ一緒に、ランナーの皆さんを応援し、地域のイベントを盛り上げましょう。委員会に参加してくれる人は、10月21日(月)までに二次元コードから申し込んでください。質問があれば、生徒指導担当に声をかけてください。

今年度の活動予定、昨年度の取組の様子、生徒の感想は以下の通りです。参考にしてください。

《今年度の予定》

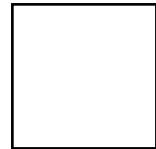
10月22日(火)放課後 第1回打ち合わせ 代表決定・活動内容検討

※以後、必要に応じて数回程度の打合せを実施

12月12日(木)放課後 事前指導

12月15日(日)マラソン当日 ゆり中前で応援

12月16日(月)放課後 振り返り



二次元コードは紙面に記載

《昨年度の取組》



←全校生徒に応援メッセージを募集し、寄せ書きを作成。

大会前に、三田国際マスターズマラソン公式SNSでも紹介していただきました。





↑当日の応援の様子。手作りの旗を持って学校まで応援。地域の方と一緒に応援しました。

《昨年度、応援委員会に参加した生徒の感想》

- ・ランナーの方々を応援するために旗をつくったりして、全校生が一致団結しているのが印象に残った。みんなと協力してたくさんのアイデアを出したり、みんなと楽しく委員会を進められて、横のつながりが少し強まったと思いました。
- ・応援委員会だけでなく、校長先生やいろいろな先生方、他にもデイサービスゆりのきの方などと一緒に応援ができて、すごく一体感を感じた。地域とのつながりの大切さを学ぶことができたと思います。
- ・ゆり中マスターズマラソン応援委員会に入ってよかったなと思いました。約2か月間委員として活動して、楽しかった。案を出すのは難しいし、お金をかけずに工夫して応援するのは難しかったけど、実際に旗を作ったり、当日大きな声で応援して、ランナーの方が手を振ったりハイタッチしてくれたりして、とても嬉しい気持ちになりました。

■気候や体調に応じた服装を

朝夕は肌寒い日が多くなり、ブレザーやセーター・カーディガンを着用する生徒も増えてきました。今後、防寒着としてコート類を着用する機会も増えそうです。さて、以前からお知らせしている通り、制服の着こなしについては、これまで生徒会が中心となり、校則の見直しを進め、随時変更してきました。特に、防寒着（セーター、カーディガン、ベスト、コート）の取扱いについては、気候や体調に応じた服装を自分で選択し、また、学習環境を整える観点から、変更を行いました。以下の通りとしていますので、共通理解のうえ、適切に対応してください。着こなしに“幅”があることの意味を正しく理解し、節度ある行動、判断を期待します。

□登下校について

- ・セーター、カーディガン、ベスト（華美でないもの）は、ブレザーなしで着用可
- ・コート類（華美でないもの）は、ブレザーの上から着用する
- ・手袋・マフラーの着用可



□校内について

- ・教室内外を問わず、気候や体調に応じて、ブレザーは自由に着脱してよい
- ・夏季はエアコン対策のため、セーター、カーディガンに限らず、上着の着用を認める。冬季はブレザーなしでコート等の防寒着（華美でないもの）を着用してよい。
- ・安全管理上、名札は必ず左胸に着用する。防寒着を校内で着用する場合、名札を躊躇いなく付けられるものにしてください。

【保護者の皆様へ】 制服の取扱いについて、上記の通りとしています。生活のきまりを定め、それに基づいて指導することは、社会規範の遵守について指導することであり、生徒のよりよい成長・発達に必要なものと考えております。保護者の皆様におかれましても、内容をご確認のうえ、ご理解とご協力をお願いいたします。なお、校則の見直しの過程に生徒が参画することもまた、教育的意義のあるものです。今後も社会通念に照らし合わせながら、生徒の主体的活動を支援していきます。